

第16回とまこまい広域農業協同組合通常総代会

とまこまい広域農業協同組合の第16回通常総代会が、本町で盛会に開催されますことを、心からお慶び申し上げますとともに、近隣各市町から多くの総代にお越しをいただき、心からご歓迎を申し上げます。皆様方には、日頃から安全・安心な食の安定供給と農業の持続的発展のためそれぞれの地域においてご活躍をいただいておりますことに、心から敬意を表する次第であります。また、ただ今、報徳善行賞と共励会の表彰がありました。受賞者の皆様の日頃のご努力の賜とお祝い申し上げます。

去年は、当時の厚真村に戸長役場が設置されてから120年を迎えました。来年は、北海道150年の記念すべき年でもあります。あらためて開拓の歴史を振り返りますと、北海道の限りない可能性に夢や希望を託した多くの先人の努力の結晶として、現在の農業生産基盤があることに気づかされます。多くの地域が農業の専業地帯として発展し、町が形づくられました。正に、北海道の歴史は、農業の発展なくして成し得なかったものであります。そんな北海道も今や、多国間との貿易交渉に翻弄されている感はありますが、今後とも、地域の持続的発展には農業の成長産業化への取組が欠かせません。

こうした中であって、昨年11月に国が策定した農業競争力強化プログラムを基にした農業競争力強化支援法案が今通常国会で審議入りしています。農業競争力強化プログラムは、農業者の経営努力によってのみでは解決できない生産資材や流通・加工等の構造的な課題を解決し、有利販売や有利購買を通して、農業者や単位JAの収益の最適化を図るものと伺っています。

本日の通常総会におきましても「JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議案」が出されておりますが、大会決議を基に、収益向上の取組、組合員の経営サポート、担い手の育成・確保、地域貢献などの自己改革を組織を挙げて展開中ということですので、このプランの着実な実行により、組合員の所得向上と農村地域の活性化に繋がることをご期待申し上げます。

本町においても、さらなる経営基盤強化に向けて農業農村整備を進めており、その中核施設である厚幌ダムの試験湛水が本年10月に開始されます。また、国営かんがい排水事業の進捗状況は本年度末で95%超となり、道営ほ場整備は同じく80%超と見込んでいます。それぞれの事業費は厚幌ダム建設で390億円、国営かんがい排水事業で470億円、道営ほ場整備で400億円の大規模なものでありますが、これまでの長い年月における多くの関係者のご尽力ご協力に改めて感謝申し上げます。また、本年度新たに研修農場を開設し、新農業者育成協議会やJAなどの関係機関と連携して新規農業者などの人材育成の取り組みを強化してまいります。その他にも、農村の価値を最大化するためグリーン・ツーリズムや6次産業化、農商工連携など様々なアプローチを行っているところでもありますが、いずれにしても働く喜びを実感できる農業、所得があがる農業・農村を実現することが最大の担い手対策であり、地方創生の恒久対策であると考えています。農業・農村の持続的発展のため、これまで以上に農業者の主体的な取組やJAとの連携強化が重要でありますので、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

まだまだ寒い日が続いていますが、農作業がいよいよ本格化してまいります。くれぐれも安全作業と万全な肥培管理に努めていただき、無事、豊穰の秋を迎えていただきたいと思います。結びに、とまこまい広域農業協同組合のご発展と本日ご参会の皆様のご健勝を心からご祈念申しあげ、あいさついたします。

平成29年4月11日

厚真町長 宮坂 尚市朗